

【第2回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：大和病院改修等タスクフォース

会議開催日時：令和3年2月10日（水） 13時55分～15時10分

会 場：健友館 多目的ホール

参加者：外山副市長、病院部局（院長他、看護師・コメディカル・事務などの職員5人）、市長部局（4人）、事務局（2人）
Zoomにて参加（大和病院建物調査委託受注業者7人）

会議の内容

- 病院事業会計の現状について
- 第1回タスクフォースの活動報告
- 委託受注業者からの調査進捗状況の説明
- 質疑応答

各委員からのご意見

委託受注業者から出された基礎調査の計画（案）比較表（A 既存改修案、B 敷地内改修案、C 移転新築案）に基づき、各委員からの質疑・応答や意見を頂いた。

○A 案について

- ・既存改修については、北棟2階にある病棟を3階へ移動、2階を事務室等へ、1階の外来機能を北棟側に移転集約、エネルギー棟は、経年劣化により全面改修（現在の病床数に合ったものに改修）の必要あり。設備関係も、改修が必要。この改修した場合、20年から30年間の継続使用に耐えられるもので試算している。
- ・隣の基幹病院との連携やリハビリと同じフロア等を考えれば、病棟は2階がベストで、3階が管理棟になる方が望ましい。
→工期とコストはプラスされるが、技術的には可能である。
- ・改修時の騒音・振動について影響はないのか。
→病棟を3階に移すので入院関係はある程度軽減される。壁を壊すときに騒音と振動が発生するので、外来の時間等を考慮して工程を切り回していく必要がある。
- ・外来と入院には対応できるのか。外来制限はないのか。
→機能は維持しながら改修ができる。

○B 案について

- ・新病院棟の建設地は、できれば基幹病院と渡り廊下等で繋がるような形がベスト。
→形状としては不可能ではない。

○C案について

- ・介護需要が増えるのを見越し、将来老健や介護医療院に転用することを考慮したゆったりとした病室、スペースの確保が必要ではないか。

○3案に共通したこと

- ・改修後の維持コストはどの案でも大きく変わらないものなのか。
→概ね変わらない。
- ・現在実施している一般患者と動線を分離した発熱外来の診察スペースは含まれているか。
→計画案には含まれていない。
- ・有利な補助金の活用や地域医療介護総合確保基金の要件の確認、また、解体する際の費用について新潟県と協議するなど、財源を確保するため有利な手段や法律がなければいけないかを調べていくべき。

今後の課題・対応

- 3月の下旬位に報告書が出来上がる予定。
- 第3回タスクフォースの開催時期は、院長と副市長の予定を優先し、3月議会終了後の3/19以降で日程調整をする。